

道路橋示方書改定 で設計計算例講習

建コン協ら

建設コンサルタンツ協会と日本橋梁建設協会、プレストレスト・コンクリート建設業協会、日本建設業連合会は19日、福岡市の福岡県中小企業振興センターで「道路橋示方書改定に伴う設計計算例講習会」を開いた。写真。会員企業や行政関係者など約320



人が参加し、橋梁技術者が実務レベルで設計や照査を円滑に行うために必要となる設計計算書に記載するべき基本事項のほか、鋼橋やPC橋、下部構造の計算例を学んだ。

「橋、高架の道路等の技術基準」（道路橋示方書）は2017年7月に改定され、18年1月1日以降に新たに着手する設計から適用されている。この改定で設計の考え方が変わることから、日本道路協会発刊の「17年道路橋示方書に基づく道路橋の設計計算例（仮称）」を基に、各団体の担当者がそれぞれ解説した。